

教育委員会定例会議事日程

令和元年11月1日(金)午後2時00分

- 1 会議録の承認
- 2 一般報告・その他報告事項
産学官協働によるICTを活用した部活動支援について
「よこはま子どもピースメッセンジャー」の国際連合等への派遣について
- 3 審議案件
教委第32号議案 横浜市学校規模適正化等検討委員会委員の任命について
教委第33号議案 横浜市立小学校における傷害事故に係る損害賠償額の決定に関する意見の申出について
- 4 その他

令和元年11月1日

教育委員会定例会 一般報告

1 市会関係

○10/29～31 こども青少年・教育委員会（視察）

2 市教委関係

(1) 主な会議等

○10/21 スクールミーティング

○10/23、24 第69回 横浜市立小学校体育大会

○10/24～26 世界の子どもたちと中学生のラグビーを通じた交流

(2) 報告事項

○産学官協働によるICTを活用した部活動支援について

○「よこはま子どもピースメッセンジャー」の国際連合等への派遣について

3 その他

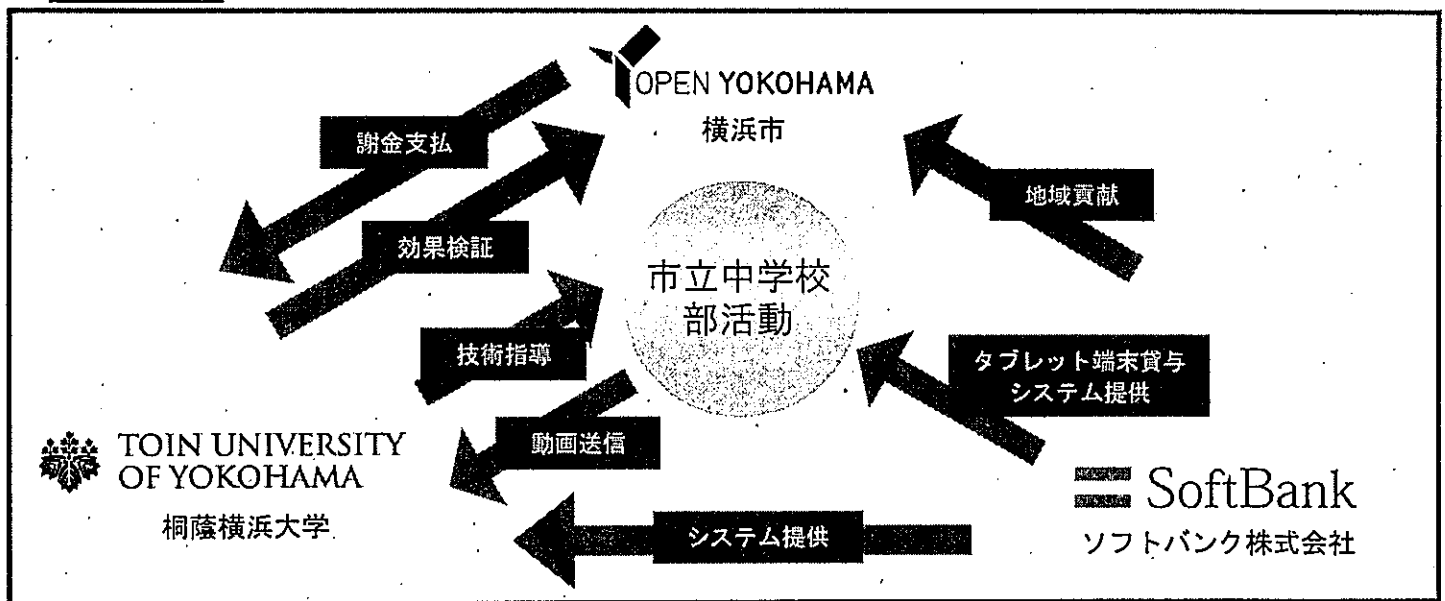
産学官協働による ICT を活用した部活動支援について

本市では、中学校部活動の充実と教職員の負担軽減などを目的に、顧問を担うことができる「部活動指導員」を学校に配置するなど、部活動支援に取り組んでいます。

今後は、「外部人材を配置するほどではないが、自らの競技経験のない部活動の顧問を担うことへの不安や負担」を感じている教職員への支援が必要と考えます。

このような教職員の精神的な負担を軽減し、併せて、生徒がより専門性の高い技術指導を受けられるよう、ICT を活用した部活動の遠隔技術指導を試行実施します。

1 事業概要



(事業のイメージ)

- ① ソフトバンク社は、中学校にタブレット端末を貸与し、遠隔指導システムを提供します。
- ② 中学校は、生徒の活動の様子を動画で撮影し、遠隔指導システムにアップロードします。
- ③ 桐蔭横浜大学は、中学校からアップロードされた動画の内容を確認し、指導コメントや動画を作成して、システムにアップロードします。
- ④ 中学校では、生徒が指導コメントや動画を確認することで、自分たちのスキルアップや、目標達成を目指して取り組みます。

2 事業のポイント

教員の負担軽減

部活動の指導に「遠隔指導」を取り入れることにより、自らの競技経験のない教職員の技術指導に係る負担軽減を図ります。

(次頁あり)

生徒の主体的な活動につなげる

生徒が自らの体力や技術を客観的に把握することで、解決すべき課題や達成したい目標を定めることができます。

動画を通して自分自身の動作を客観的に把握したうえで指導を受けることによって、自ら課題を解決する力を育むなど、思考力・判断力・表現力を高め、部活動に自主的・自発的に取り組むことが期待できます。

学生の指導力向上

本事業では教員を目指す学生が指導を行います。学生にとって、大学で学んでいる専門的な知見を取り入れながら、中学生への指導に携わることは貴重な経験であり、学生の実践的指導力の向上や人材育成につながります。

3 対象校等

対象校	市場中学校（鶴見区市場下町1-1）	学校長 根岸 淳
対象部	サッカー部（生徒15名 顧問2名）	
時期	令和元年9月1日から令和2年3月31日まで（令和2年度の詳細は未定）	

「よこはま子どもピースメッセンジャー」の国際連合等への派遣について

1 目的

国際機関の訪問を通じて国際平和への貢献を体験的に学ぶとともに、国連国際学校（国連本部や各国代表部等の職員の子どもの対象として設立された学校）の体験入学を通して、子どもたちが国際感覚を身に付け、グローバル人材の育成に資する。

2 派遣児童生徒（よこはま子どもピースメッセンジャー）

「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」(*)で横浜市長賞を受賞した4名の児童生徒を「よこはま子どもピースメッセンジャー」として委嘱し、派遣。

氏名	学校名(区名)	学年
山部 花(やまべ はな)	南山田小学校 (都筑区)	6年
栗原 理愛(くりはら りな)	桂台小学校 (栄区)	6年
張 芸那(じゃん えな)	横浜吉田中学校 (中区)	2年
金子 璃珠(かねこりじゅ)	上永谷中学校 (港南区)	3年

(*)「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」

- ・横浜市内の児童生徒の国際平和の重要性に対する意識を高め、国際平和のために自分たちにできることを実践しようとする態度を培うことを目的に、平成8年から開催。
- ・小中学校等から選出された児童生徒が、各区の予選を経て、市の大会に出場。
- ・今年度は、市内の小中学校の児童生徒約50,000人が参加し、市の大会には各区代表となった小学生18名、中学生18名が参加。(各区代表の児童生徒は「子ども実行委員」として1年間活動)

3 派遣期間

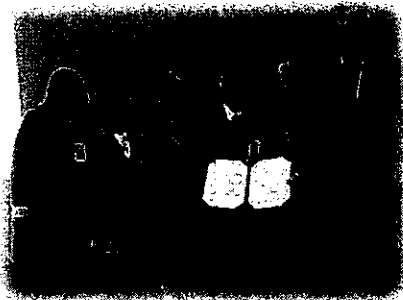
10月13日(日)午後【出発】～10月20日(日)午後【帰着】

4 主な活動内容

(1) 国連本部等へ訪問し、「よこはま子どもピースメッセージ2019」を報告

① 国連本部

- 国連国際学校事務総長特別代表 ジョアン・マクドナルド氏
DMSPC 法務官・国連国際学校評議員 ステファン・マーゲッツ氏
・横浜市長 林 文子からのメッセージの進呈
- 国連軍縮担当上級代表 中満 泉氏
- 子どもに対する暴力担当国連事務総長特別代表 マーラ・ミジッド氏
- 国連ウィメン市民社会部長 ロパ・バナジー氏 他3名
- 国連総会課長 中野 健司氏
- 子どもと武力紛争担当国連事務総長特別代表 ニコラス・ジェラード氏
- 国連開発計画上級顧問 岸守 一氏、UNDP-JICA/日本 連携アドバイザー 奥本 将勝氏
- 人権高等弁務官事務所事務局長補佐 クレイヴ・モヒバー氏
- 国際連合本部の見学(安全保障理事会会議場、日本政府寄贈「平和の鐘」等)



② 国連児童基金 (ユニセフ) 本部

- 副代表 ハナン・スリエマン 氏、副代表 ファヤツ・キング 氏
他 GenU (無限の可能性を秘めた世代) に関わる4名
・平成30年度「よこはま子ども国際平和募金」(9,869,608円)の目録の進呈

③ 国連日本政府代表部

- 大使 星野 俊也 氏、参事官 江副 聡 氏

(2) 国連国際学校 (UNIS) への体験入学

- ピースメッセンジャー4名と国連国際学校日本語学科の児童生徒がペアとなり、校内の案内をしてくださいました。
- 1日目はペアの児童生徒のクラスと一緒に参加し、国連国際学校の授業も体験させていただきました。日本の学校との違いに驚いている様子でした。
- 2日目は「国連デー」のイベントがありました。国連国際学校には様々な国の出身の児童生徒がおり、それぞれの国の衣装を身に付けてイベントに参加したりしていました。



5 NY派遣に対するピースメッセンジャーの感想

- お話を聞いたどの方も「今を生きる君たち、若者にかかっているんだ。」と口をそろえておっしゃっていました。平和な世界にするためには、子どもたちの声と力が必要であると学びました。「社会は必ず変わる！」そう気づかせてくれました。変えていくのはわたしたちだと実感させてくれた5日間でした。
- 常に「何がよりよいものなのか。」を考えることが大切だということを実感し、充実した5日間を過ごすことができました。そして、わたしたちは待っているだけでなく、もう今からリーダーであり、わたしたちが声を出すことで世界が変わるかもしれないということを実感できた日々でした。
- 到着をすると今まで自分が考えていたものをはるかに超える大きさでいろんな国の人が歩いているところを見ることができ、それをすごく素敵に感じました。お会いした方々すべてが私たちに期待をしてくれていると思えました。期待に応えるだけでなく、自分の意思をはっきりしていきたいと思いました。
- 「未来のリーダーではなく、今のリーダーだ！」という言葉がたくさんの方々からいただき、「未来をよりよくしていく」のではなく、「今」をよりよくするために活動していくと強く受け止めました。自分がこの地に立ち、ここから見えた広い世界へ「今」のことを伝えていきたいです。

帰国後の取組 (ピースメッセンジャー、子ども実行委員)

11月中	ユニセフハウス訪問	実行委員希望者
12月3日(火)	第2回子ども実行委員会 ・国際連合訪問等の報告 ・令和元年度子ども国際平和募金ポスターの作成 ・国際平和に関する学習会	全実行委員
12月14日(土)	市立小・中・高等学校・特別支援学校合同の文化交流会 (西公会堂)で国際連合訪問等の報告	ピースメッセンジャー
12月21日(土)	ユニセフ ハンド・イン・ハンド2019【街頭募金活動】 (桜木町駅前広場で実施予定)	実行委員希望者
令和2年3月末	UNIS 生徒の来浜 (約20名、市立中学校生徒の家庭にホームステイの予定)	希望者
令和2年 夏	令和2年度「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」で 司会を担当	ピースメッセンジャー
	令和2年度「よこはま子ども実行委員委嘱式」で司会を担当	ピースメッセンジャー